

平坦地域で、トビイロウンカが増えています。 注意報「第3号」が発表されました

奈良県農業協同組合

奈良県病害虫防除所より、県内平坦地域においてトビイロウンカが確認され、今後高温により急増が懸念されることから、7月28日に水稻トビイロウンカ（秋ウンカ）の注意報「第3号」が発表されました。

対象地域は奈良県平坦地域（5月下旬以降に田植）、発生時期は早く、発生量は多いとされています。



トビイロウンカの成虫



坪枯れ



坪枯れ(多)

これをうけて、平坦地域の8月の本田防除についてとりまとめましたので、参考のうえ対応をお願いします。

- ▶田植え時にトリフルメゾピリムを含む箱施用剤（フルスロットル粒剤、スクラム粒剤、ブーンゼクテラ粒剤等）を使用されている場合

現在トビイロウンカに対して、効果が持続しております。今後の情報に注視して下さい。

- ▶田植時にトリフルメゾピリムを含む箱施用剤を使用されていない場合

8月上旬（お盆前まで）に下記のいずれかの薬剤により防除をお願いします。

なお、粉剤で防除をされる方は、JAへご相談下さい。

8月の本田防除薬剤

防除薬剤名	使用量 (10aあたり)	使用時期・ 使用回数	規格	農家渡し価格 (円/税込み)	備考
スタークル粒剤	3kg	収穫7日前まで・ 3回	3kg	3,366	ニコメイトウ・ツグロ ヨコバ 1同時防除
スタークル豆つぶ	250~500g	収穫7日前まで・ 3回	250g	3,630	ツグロヨコバ 1同時 防除
トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで・ 3回	500ml	4,543	コブノミカ・ツグロ ヨコバ 1同時防除
ゴウケツモンスター粒 剤	3kg	出穂5日前まで (但し、収穫45日 前まで)・ 1回	3kg	5,830	いもち病・紋枯 病同時防除

※くわしくは、お近くのJAならけん営農経済センターまで

(令和3年7月28日作成)